令和４年度

原子力産業基盤強化研修のご案内

令和４年９月

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター

本資料は、公益財団法人若狭湾エネルギー研究センターが経済産業省からの
委託を受けた研修事業を実施するために作成したものです。

目　次

ごあいさつ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
研修の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
研修会場およびスケジュール　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

社会人向け研修
Ⅲ－１－１　原子力発電所従事者の放射線管理技術研修　・・・　４
Ⅲ－２－１　原子力発電所従事者の放射線管理実践研修　・・・　５
Ⅲ－３－１　原子力発電所従事者の放射線防護研修　・・・　６
Ⅲ－４－１　原子力設備保修技術向上研修（配管）　・・・　７
Ⅲ－４－２　原子力設備保修技術向上研修（熱交換器）　・・・　８
Ⅲ－５－１　原子力設備保守管理向上研修　・・・　９
Ⅲ－６－１　ヒューマンファクター研修　・・・１０
Ⅲ－７－１　セーフティプロモーション研修　・・・１１
Ⅲ－８－１　リスクコミュニケーション実践研修　・・・１２
Ⅲ－９－１　原子炉施設廃止措置実践研修　・・・１３
Ⅲ－10－１　廃止措置技術セミナー　・・・１４

研修申込み要領および申込書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

ごあいさつ

原子力産業基盤強化研修は、福井県が策定した「嶺南Ｅコースト計画」に基づいて、公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター内に設置されている福井県国際原子力人材育成センターが経済産業省から委託を受け実施するものです。既に原子力発電所のメンテナンス業務へ参入し、さらなる技術力向上を希望する県内企業等、あるいは原子力発電所のメンテナンス業務へ参入の意欲がある県内企業等を対象に、「現場技術者の技能向上」「事故対応・マネジメントの向上」「廃止措置技術の向上」にかかる研修を行います。

本研修は、受講者の幅広い技術レベルや多種多様な知識・技能習得へのニーズに対応した、きめ細かなカリキュラムとしております。

今年度の本研修につきましては、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止対策をしっかりと講じたうえで実施します。

皆様の積極的なご参加を期待しております。

公益財団法人　若狭湾エネルギー研究センター

理事長　石塚　博英

研修の概要

（１）目標

原子力発電所のメンテナンス業務にかかる知識・技能を習得することにより、技術レベルの向上を図り、原子力発電所のメンテナンス業務の一層の質向上を目標にしています。

（２）対象者

主に原子力発電所のメンテナンス業務に従事する県内企業もしくは県内に事業所のある企業（以下、県内企業等）の社員（作業員、作業班長）等を対象とします。

（３）研修内容

「現場技術者の技能向上」

原子力発電所従事者の放射線管理技術研修
原子力発電所従事者の放射線管理実践研修
原子力発電所従事者の放射線防護研修
原子力設備保修技術向上研修（配管）
原子力設備保修技術向上研修（熱交換器）
原子力設備保守管理向上研修

「事故対応・マネジメントの向上」

ヒューマンファクター研修
セーフティプロモーション研修
リスクコミュニケーション実践研修

「廃止措置技術の向上」

原子炉施設廃止措置実践研修
廃止措置技術セミナー

（４）研修日程

３ページの研修スケジュールをご覧ください。

※ 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の発生状況により、延期、中止、変更の可能性があります。

最新の実施状況について、応募状況とともに、当法人ホームページにてお知らせいたします。(http://www.werc.or.jp/training/atom/)

ご確認の上、１５ページ「研修申込み要領」に従いお申し込みください。

なお、お申し込み後に延期、中止、変更になる場合もありますので予めご承知おき願います。

※ ご不明な点やご質問がありましたら、遠慮なくお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
公益財団法人　若狭湾エネルギー研究センター
福井県国際原子力人材育成センター　国内人材育成グループ
電話　0770-24-7274（直通）
FAX　0770-24-7288
E-mail　jinzai@werc.or.jp

研修会場およびスケジュール

10 月	・放射線管理実践研修	p. 5	若狭湾エネルギー研究センター
	・原子力設備保修技術向上研修（配管）	p. 7	若狭湾エネルギー研究センター
11 月	・原子力設備保守管理向上研修	p. 9	日本原子力発電　研修センター
	・ヒューマンファクター研修	p. 10	若狭湾エネルギー研究センター
	・原子炉施設廃止措置実践研修	p. 13	関西電力原子力研修センター(おおい)等
	・原子炉施設廃止措置実践研修	p. 13	日本原子力発電　研修センター等
	・原子炉施設廃止措置実践研修	p. 13	日本原子力発電　研修センター等
12 月	・廃止措置技術セミナー	p. 14	若狭湾エネルギー研究センター等
	・放射線管理技術研修	p. 4	若狭湾エネルギー研究センター
	・原子力設備保修技術向上研修(熱交換器)	p. 8	若狭湾エネルギー研究センター
1 月	・放射線防護研修	p. 6	若狭湾エネルギー研究センター
	・セーフティプロモーション研修	p. 11	若狭湾エネルギー研究センター
	・リスクコミュニケーション実践研修	p. 12	若狭湾エネルギー研究センター

各研修のご案内

社会人向け研修

Ⅲ－１―１　原子力発電所従事者の放射線管理技術研修

概　　要　　放射線業務従事者に対して、放射線防護や緊急時被ばくなどの放射線管理に関する技術的な知識を学んでもらうことで、放射線管理業務の技能向上を図りながら、被ばく低減の取組などを推進することを目指す。

対　　象　　放射線管理業務等、本分野に関心のある方

定　　員　　１０名

参 加 費　　無料

カリキュラム

日　程	カリキュラム	
１日目	１．放射線影響（影響分類、影響要因、人体影響） ２．放射線防護（防護基準、体外・体内被ばく防護） ３．緊急時被ばく（緊急時の措置、事故事例） ４．福島原発事故からの知見 （講義）	7.0 時間

目　　標　　放射線影響、放射線防護などの技術的な知識の理解

会　　場　　福井県若狭湾エネルギー研究センター

開 催 日

日　程	期　間
第１回	令和 4 年 12 月 15 日（木）　9:00～17:00

教　　材　　講師が準備する教材を使用

Ⅲ－２―１　原子力発電所従事者の放射線管理実践研修

概　　要　　原子力業務従事者に対して、放射線被ばく低減や放射能汚染拡大防止などの放射線管理に関する実践的な知識を学んでもらうことで、作業場での安全性向上を図りながら、被ばく低減の取組などを推進することを目指す。

対　　象　　放射線管理業務等、本分野に関心のある方

定　　員　　５名

参 加 費　　無料

カリキュラム

日　程	カリキュラム	
１日目	１．原子力発電所の系統と放射線管理 ２．放射線被ばく低減の計画（個人管理、作業管理） ３．放射線被ばく線量の算出 ４．放射能汚染防止の計画（汚染管理） ５．防保護具の使用基準、脱着方法 ６．汚染原因の解明 （講義、実習）	7.0 時間

目　　標　　放射線被ばく低減、放射能汚染拡大防止などの実践的な知識の理解

会　　場　　福井県若狭湾エネルギー研究センター

開 催 日

日　程	期　間
第１回	令和 4 年 10 月 25 日（火）　9:00～17:00

教　　材　　講師が準備する教材を使用

Ⅲ－３―１　原子力発電所従事者の放射線防護研修

概　　要　　原子力業務従事者に対して、放射線に対する科学的基準や放射線リスクアセスメントの重要性、放射線災害など放射線防護に関する専門的な知識を学んでもらうことで、作業場での安全性向上を図りながら、正しい放射線防護への取組などを推進することを目指す。

対　　象　　放射線管理業務等、本分野に関心のある方

定　　員　　１０名

参 加 費　　無料

カリキュラム

日　程	カリキュラム	
１日目	１．原子力発電所の放射線防護 ２．放射線防護の基準 ３．放射線災害時の防護措置 ４．放射線リスクアセスメント （講義、実習）	7.0 時間

目　　標　　放射線災害に対する放射線防護などの技術的な知識の理解

会　　場　　福井県若狭湾エネルギー研究センター

開 催 日

日　程	期　間
第１回	令和 5 年 1 月 24 日（火）　9:00～17:00

教　　材　　講師が準備する教材を使用

Ⅲ－４―１　原子力設備保修技術向上研修（配管）

概　　要　　原子力発電所の保修業務に従事する作業者に対して、プラントメーカーから原子力発電所における主要機器である配管の構造や設計に関する知識など、機器についての深い知識を学ぶことで、現場の保修技術力の向上を図るとともに、緊急時や異常時にも対応できる人材を育成することを目的とする。

対　　象　　原子力発電所のメンテナンス業務従事者等、本分野に関心のある方

定　　員　　１０名

参 加 費　　無料

カリキュラム

日　程	カリキュラム	
１日目	１．配管の概要（種類・用途、構造、材料、性能等） ２．配管の構造 ３．配管の設計（強度設計、耐震設計、流れ加速型腐食（FAC）対策等） ４．機器の保守管理 ・供用期間中検査の概要（RT,UT,MT,VT 他）、判定基準等 ・配管の保守管理（供用期間中検査、肉厚検査、その他検査等（判定基準含む）） （講習）	7.0 時間

目　　標　　原子力発電所の各機器の保修に関わる設計知識等の理解

会　　場　　福井県若狭湾エネルギー研究センター

開 催 日

日　程	期　間
第１回	令和 4 年 10 月 31 日（月）　9:00～17:00

教　　材　　講師が準備する教材を使用

Ⅲ－４―２　原子力設備保修技術向上研修（熱交換器）

概　　要　　原子力発電所の保修業務に従事する作業者に対して、プラントメーカーから原子力発電所における主要機器である熱交換器の構造や設計に関する知識など、機器についての深い知識を学ぶことで、現場の保修技術力の向上を図るとともに、緊急時や異常時にも対応できる人材を育成することを目的とする。

対　　象　　原子力発電所のメンテナンス業務従事者等、本分野に関心のある方

定　　員　　１０名

参 加 費　　無料

カリキュラム

日　程	カリキュラム	
１日目	１．熱交換器の概要（種類・用途、構造、材料、性能等） ２．熱交換器の構造 ３．熱交換器の設計（強度設計、耐震設計） ４．機器の保守管理 ・供用期間中検査の概要（RT,UT,MT,VT 他）、判定基準等 ・熱交換器の保守管理（供用期間中検査、細管検査、その他検査等（判定基準含む）） （講習）	7.0 時間

目　　標　　原子力発電所の各機器の保修に関わる設計知識等の理解

会　　場　　福井県若狭湾エネルギー研究センター

開 催 日

日　程	期　間
第１回	令和 4 年 12 月 23 日（金）　9:00～17:00

教　　材　　講師が準備する教材を使用

Ⅲ－５―１　原子力設備保守管理向上研修

概　　要　　原子力発電所の保修業務に従事する作業者に対して、原子力発電所における主要機器（ポンプ、熱交換器など）の構造・保守管理技術等の知識を学ぶとともにモックアップ設備を用いて、機器の性能維持に係る理解を深め、原子力設備の保守管理向上を目指す。

対　　象　　原子力発電所のメンテナンス業務従事者等、本分野に関心のある方

定　　員　　４名

参 加 費　　無料

カリキュラム

日　程	カリキュラム	
１日目	１．ポンプ・熱交換器の概要（種類・構造・材料等） ２．保全技術（保修方法、トラブル実習等） （講義）	7.0 時間
	３．モックアップ実習 ・ポンプ／熱交換器運転性能確認実習 ・偏流部水流状況確認実習 ４．トラブル実習（キャビテーション、水撃等） （実習）	

目　　標　　原子力設備保全技術や各機器の運転状態に係る必要な知識の習得

会　　場　　日本原子力発電（株）敦賀総合研修センター

開 催 日

日　程	期　間
第１回	令和 4 年 11 月 2 日（水）　9:00～17:00

教　　材　　講師が準備する教材を使用

Ⅲ－６―１　ヒューマンファクター研修

概　　要　　原子力発電所に従事する作業者に対して、原子力発電所の作業現場でのヒューマンファクターに基づくエラーなどの正しい知識を学んでもらうことで、トラブルの低減を図りながら、原子力発電所の安全性の向上を目指す。

対　　象　　原子力発電所のメンテナンス業務従事者等、本分野に関心のある方

定　　員　　１０名

参 加 費　　無料

カリキュラム

日　程	カリキュラム	
１日目	１．ヒューマンファクターの概論 ２．コミュニケーションエラー ３．ヒューマンファクター分析 ４．ヒューマンエラーマネジメント ５．コーチングスキル （講習、実習）	7.0 時間

目　　標　　ヒューマンファクターなどの実務的な知識の理解

会　　場　　福井県若狭湾エネルギー研究センター

開 催 日

日　程	期　間
第１回	令和 4 年 11 月 15 日（火）　9:00～17:00

教　　材　　講師が準備する教材を使用

Ⅲ－７―１　セーフティプロモーション研修

概　　要　　原子力関連業務の安全性の向上を図るためには、現場作業における適切なリスク管理とレジリエンス向上によるリスク低減を図ることが重要である。本研修では、安全目標設定の考え方やその達成度評価するための手法を学び、作業場でのリスク低減を図りながら、自主的な安全推進を目指す。

対　　象　　原子力発電所のメンテナンス業務従事者等、本分野に関心のある方

定　　員　　１０名

参 加 費　　無料

カリキュラム

日　程	カリキュラム	
１日目	１．安全マネジメントプロセス ２．原因や背景要因の探求手法 ３．リスクモニタリング手法 ４．レジリエンスの向上とリスク低減 ５．安全推進活動の展開 （講義、実習）	7.0 時間

目　　標　　現場作業の安全性向上やリスク低減に係る知識の理解

会　　場　　福井県若狭湾エネルギー研究センター

開 催 日

日　程	期　間
第１回	令和 5 年 1 月 17 日（火）　9:00～17:00

教　　材　　講師が準備する教材を使用

Ⅲ－８―１　リスクコミュニケーション実践研修

概　　要　原子力発電所に従事する作業者に対して、社内外でのリスクコミュニケーションやリスク情報を活用した意思決定方法等のマネジメント手法について、より実践的な知識を学んでもらうことにより、作業場でのリスク低減を図りながら、原子力発電所の安全性の向上を目指す。

対　　象　原子力発電所のメンテナンス業務従事者等、本分野に関心のある方

定　　員　１０名

参 加 費　無料

カリキュラム

日　程	カリキュラム	
１日目	１．リスクコミュニケーションの概論 ２．社内外のリスクコミュニケーション ３．リスク情報を活用した意思決定手法 ４．リスクコミュニケーションの実践的な演習 （講義、実習）	7.0 時間

目　　標　リスクコミュニケーションのより実践的な知識の理解

会　　場　福井県若狭湾エネルギー研究センター

開 催 日

日　程	期　間
第１回	令和 5 年 1 月 31 日（火）　9:00～17:00

教　　材　講師が準備する教材を使用

Ⅲ－９―１　原子炉施設廃止措置実践研修

概　　要　　原子力発電所の廃止措置工事に関心のある原子力発電所従事者に対して、関西電力（株)、日本原子力発電（株）で実施している廃止措置の概要や工事計画・実績および適用された技術など、より実践的な知識を学んでもらうことにより、今後の廃止措置の安全かつ円滑な推進を目指す。

対　　象　　原子力発電所のメンテナンス業務従事者等、本分野に関心のある方

定　　員　　１０名

参 加 費　　無料

カリキュラム

日　程	カリキュラム	
１日目	１．廃止措置の工事概要（ＢＷＲ、ＰＷＲ） ・廃止措置の概論 ２．廃止措置の工事詳細（ＢＷＲ、ＰＷＲ） ・原子力発電所の廃止措置工事の実績 （講義）	7.0 時間
	３．施設見学 ・各発電所の廃止措置の現場工事、適用技術 ・見学　関西電力㈱ 大飯発電所 関西電力㈱ 美浜発電所 日本原子力発電㈱ 敦賀発電所 （実習）	

目　　標　　廃止措置の概要、工程等の実践的な知識の理解

会　　場　　関西電力㈱原子力研修センター(おおい)、関西電力(株)大飯発電所（第１回）
日本原子力発電(株)敦賀総合研修センター、関西電力(株)美浜発電所（第２回）
日本原子力発電(株)敦賀総合研修センター、日本原子力発電(株)敦賀発電所（第３回）

開 催 日

日　程	期　間
第１回	令和 4 年 11 月　14 日（月）　9:00～17:00
第２回	令和 4 年 11 月　21 日（月）　9:00～17:00
第３回	令和 4 年 11 月　25 日（金）　9:00～17:00

教　　材　　講師が準備する教材を使用

そ の 他　　施設見学の際は公的身分証明書を必携

Ⅲ－１０―１　廃止措置技術セミナー

概　　要　　原子力発電所従事者に対して、廃止措置が先行している海外プラントの工事実績や廃止措置技術等の知識を学んでもらうことで、廃止措置の安全かつ円滑な推進を目指す。

対　　象　　原子力発電所のメンテナンス業務従事者等、本分野に関心のある方

定　　員　　１日目　　（セミナー）　　：３０名
　　２日目 午前※１（実習）　　：　４名

参 加 費　　無料

カリキュラム

日　程	カリキュラム	
１日目	廃止措置技術セミナー １．廃止措置の課題と地元企業の役割 ２．海外における廃止措置の概要 （１）海外の原子力発電所における廃止措置の現状 （２）廃止措置で適用される先進技術 ３．国内の原子力発電所における廃止措置工事の状況 ４．パネルディスカッション ～安全かつ円滑な廃止措置工事の進展には何が必要か～ （講義・ディスカッション）	7.0 時間
２日目 午前※１	廃止措置工事の仮想体験　（実習）	3.0 時間

※１　実習は１日目を受講された方のうち４名まで参加可。
　希望の方は申込書（備考）に「２日目午前（実習）希望」とご記入ください。
　追って参加の可否をお知らせします。

目　　標　　国内外プラントの廃止措置工事実績や廃止措置技術についての知識の理解

会　　場　　１日目　　：福井県若狭湾エネルギー研究センター
　　２日目※１：日本原子力研究開発機構ふくいスマートデコミッショニング技術実証拠点

開 催 日

日　程	期　間
１日目	令和 4 年 12 月 8 日（木）9:00～17:00　（セミナー）
２日目	※１ 令和 4 年 12 月 9 日（金）9:00～12:00　（実習）

教　　材　　講師が準備する教材を使用

研修申込み要領および申込書

研修申込み要領

参加申込み

・冊子末尾の「社会人向け研修　参加申込書」に必要事項を記入の上、公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター宛に申込〆切までにメール、ＦＡＸまたは郵送にてお申込みください。

・受講希望者数が定員をオーバーした場合、ご希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。

※ 申込〆切は、原則各研修開催日の３週間前までです。

・キャンセルについて

研修開催日の１週間前までです。この期間を過ぎて研修に参加できなくなった場合は必ず代理出席者を立ててください。

受講決定内容のご連絡

・お申し込み受付後１０日以内に、「受講決定（可・否）の連絡」を電話・ＦＡＸ・メールのいずれかでいたします。

・お申し込みから１０日を過ぎても本連絡がない場合は、必ずお問い合わせください。

研修の対象者

・原則として、原子力発電所のメンテナンス業務に従事している県内企業等の社員（作業員、作業班長）等が対象になります。

その他の留意事項

・１企業からのお申し込みが多くなった場合に人数調整をさせて頂くことがありますので、予めご了承ください。

・申し込みされた受講者以外の受講はできません。（代理出席される場合は研修前日までに必ず代理出席者の氏名・連絡先を研修申込み先まで通知ください）

・怪我等の労働災害が発生しても、補償はいたしかねますので、職場において損害保険等に加入しておられない場合は、国内旅行傷害保険等へ加入していただきますようお願いいたします。

・日本原子力発電㈱敦賀総合研修センターで研修を受講される方は、セキュリティ管理の観点から、『情報管理に関する誓約書』を研修初日に署名・提出していただく必要があります。ご署名いただけない場合は受講不可となりますので、ご注意ください。

・一部の研修については、マスコミ等の取材が入ることがありますので、予めご了承ください。

・本研修は経済産業省の委託事業として行っており、研修風景を撮影し、報告書等に掲載されることがありますので、予めご了承ください。

講座当日の留意事項

・講座開始の**１０分前までに**受付をお済ませください。（開始時間２０分前受付開始）

・遅刻や早退、中抜け、受講者の入れ替わりなどの行為はしないようお願いします。

・講座中のお電話の取り次ぎはいたしておりませんが、伝言を承ります。

申込先、問合わせ先

公益財団法人　若狭湾エネルギー研究センター
福井県国際原子力人材育成センター　国内人材育成グループ
電話　0770-24-7274（直通）
FAX　0770-24-7288
E-mail　jinzai@werc.or.jp

公益財団法人　若狭湾エネルギー研究センター 行
FAX　0770-24-7288

社会人向け研修　参加申込書

申込日：令和　　年　　月　　日

会社名	(フリガナ)	
事業所名 (工場名)	(フリガナ)	
所在地	〒	本社 □ 県内　・□ 県外
担当窓口 ＊1	(担当者名)　(電　話) (ＦＡＸ) (E-mail)	

研修番号／名称／開催日	受 講 者		
研修番号　－　－ 名称	職　種 □ 電　気 □ 計　装 □ 機　械 その他 (　　)	(フリガナ) 氏　名	食事希望＊2 □ あり・□ なし
開催日	経験年数　　年	(備 考)	
研修番号　－　－ 名称	職　種 □ 電　気 □ 計　装 □ 機　械 その他 (　　)	(フリガナ) 氏　名	食事希望＊2 □ あり・□ なし
開催日	経験年数　　年	(備 考)	
研修番号　－　－ 名称	職　種 □ 電　気 □ 計　装 □ 機　械 その他 (　　)	(フリガナ) 氏　名	食事希望＊2 □ あり・□ なし
開催日	経験年数　　年	(備 考)	
研修番号　－　－ 名称	職　種 □ 電　気 □ 計　装 □ 機　械 その他 (　　)	(フリガナ) 氏　名	食事希望＊2 □ あり・□ なし
開催日	経験年数　　年	(備 考)	

＊1 受講受付完了のお知らせ等をご案内させていただきますので、必ずご記入をお願いします。
＊2 ・若狭湾エネルギー研究センター、関西電力㈱原子力研修センター（おおい）は利用できる食事施設はありません。
・日本原子力発電㈱ 敦賀総合研修センターで昼食をとる場合は、事前予約が必要です。食事代は個人負担となります。
440円 税込み（Ⅲ－５－１「原子力設備保守管理向上研修」、Ⅲ－９－１「原子炉施設廃止措置実践研修」第２回、第３回）
※参加申込書は、ホームページからダウンロードいただくか、コピーしてお使いください。 http://www.werc.or.jp/training/atom/

研修申込書

公益財団法人　若狭湾エネルギー研究センター 行
FAX　0770-24-7288

社会人向け研修　参加申込書

申込日：令和　　年　　月　　日

会社名	(フリガナ)	
事業所名 (工場名)	(フリガナ)	
所在地	〒	本社 □ 県内　・□ 県外
担当窓口 ＊1	(担当者名)　(電　話) (ＦＡＸ) (E-mail)	

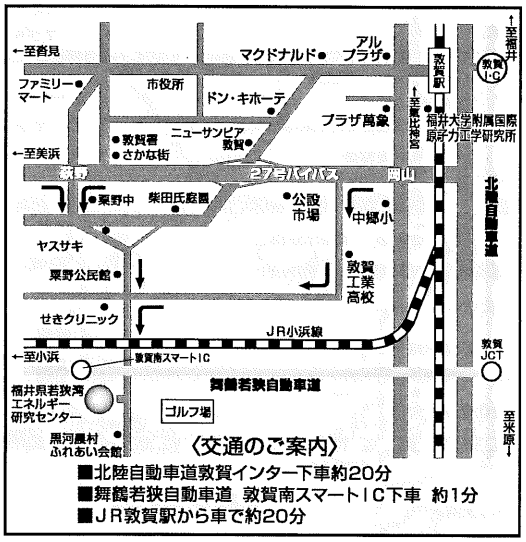
研修番号／名称／開催日	受 講 者		
研修番号　－　－ 名称	職　種 □ 電　気 □ 計　装 □ 機　械 その他 (　　)	(フリガナ) 氏　名	食事希望＊2 □ あり・□ なし
開催日	経験年数　　年	(備 考)	
研修番号　－　－ 名称	職　種 □ 電　気 □ 計　装 □ 機　械 その他 (　　)	(フリガナ) 氏　名	食事希望＊2 □ あり・□ なし
開催日	経験年数　　年	(備 考)	
研修番号　－　－ 名称	職　種 □ 電　気 □ 計　装 □ 機　械 その他 (　　)	(フリガナ) 氏　名	食事希望＊2 □ あり・□ なし
開催日	経験年数　　年	(備 考)	
研修番号　－　－ 名称	職　種 □ 電　気 □ 計　装 □ 機　械 その他 (　　)	(フリガナ) 氏　名	食事希望＊2 □ あり・□ なし
開催日	経験年数　　年	(備 考)	

＊1 受講受付完了のお知らせ等をご案内させていただきますので、必ずご記入をお願いします。
＊2 ・若狭湾エネルギー研究センター、関西電力㈱原子力研修センター（おおい）は利用できる食事施設はありません。
・日本原子力発電㈱ 敦賀総合研修センターで昼食をとる場合は、事前予約が必要です。食事代は個人負担となります。
440円 税込み（Ⅲ－５－１「原子力設備保守管理向上研修」、Ⅲ－９－１「原子炉施設廃止措置実践研修」第２回、第３回）
※参加申込書は、ホームページからダウンロードいただくか、コピーしてお使いください。 http://www.werc.or.jp/training/atom/

会 場 地 図

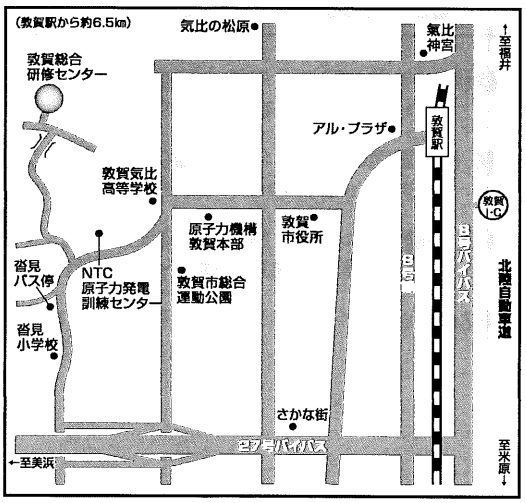
福井県若狭湾エネルギー研究センター

〒914-0192 福井県敦賀市長谷64－52－1　TEL:0770－24－7274



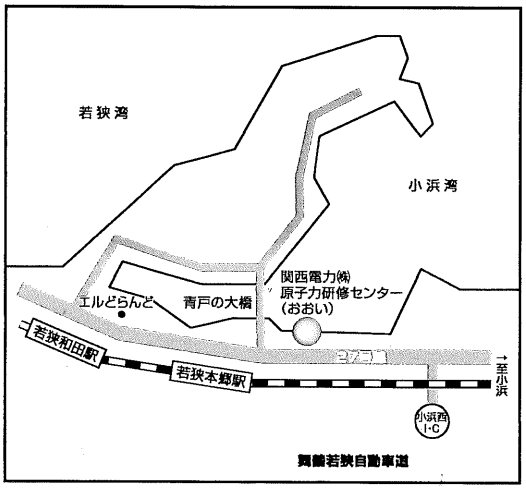
日本原子力発電㈱ 敦賀総合研修センター

〒914-0823 福井県敦賀市沓見165号9番地6　TEL:0770－21－9700



関西電力㈱ 原子力研修センター（おおい）

〒919-2107 福井県大飯郡おおい町成海字1号2番　TEL:0770－77－2101



●開館時間／午前９時から午後９時まで
※ただし、科学体験コーナー、科学情報コーナーは午後５時まで

●休　館　日／国民の休日・年末年始（12 月 29 日から１月３日まで）
※必要がある場合は、休館日を変更することがあります。

●使用受付施設／ホール・第１～２交流室・第１～３会議室
特別会議室・第１～４研修室・第１～３実習室

●使用申込の受付時間／午前９時から午後５時まで

〒914-0192　福井県敦賀市長谷 64 - 52 - 1
公益財団法人　若狭湾エネルギー研究センター
福井県国際原子力人材育成センター　国内人材育成グループ
電話：0770-24-7274　FAX：0770-24-7288
Eメール jinzai@werc.or.jp　URL http://www.werc.or.jp/